



# みねのぶ



秋播き小麦刈取り作業（7月18日／佐伯哲也さん圃場 美唄市峰延町峰樺2区）

■発行日/令和3年8月1日/No.1432号

■発 行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編 集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社



農協前で往来の車に交通安全を呼び掛ける

## 黄色の「旗の波」で 交通安全呼び掛ける

6月28日、朝8時から国道12号沿いのJA本所前歩道に、森川組合長、伊藤専務理事、安達常務理事と職員20名、美唄警察署峰延駐在所の警察官2名が並んで、「シートベルト着用」「スピードダウント」「安全運転の励行」と記した黄色の旗を振り街頭啓発「旗の波活動」を行い、国道12号を往来する車の運転者に交通安全を呼び掛けました。

これは美唄地区安全運転管理協会に登録する全事業所が取り組みます。

む活動で、職場内の交通安全意識の醸成と地域社会で車両を使って事業活動をする一員として無事故・無違反を社会に広く訴え掛け、「交通事故のない安全で安心な社会の実現」を目指す狙いがあります。

## 第6回(7月定例)理事会の開催について

7月26日開催の第6回理事会において次の事項が決定されました。

### ◇付議事項◇

1. 「JAグループ北海道不祥事ゼロ運動」の取り組みについて
2. 諸規程の一部変更について
3. 大口の信用供与等の決定について

いて

### 平素は減食より増産

ある人が、一人が一度の食事に対して、米一勺ずつ減らせば、一日に三勺、一月に九合、一年に一斗強、百人では十一石、一万人では百十石になる。

この計算を人々に説明して納得させ、国を豊かにする基礎としたいといった。尊徳翁は次のように話された。この話は、凶作の時には良いと思うが、平年には、このような策は持ち出すことは止めよ。

## 一報徳

なぜならば、凶作の年には、食物の収穫を増やすことは出来ないが、平年には、一反について、一斗ずつ収穫量を増やせば、一町について一石、十町で十石、一万町で一万石となる。国を富ませる本当の方法は、農業を支援して、米穀の増収を図ることである。それをなぜ、減食を言い出すのか。

一般の人々は、必ずしも日々の食糧が充分であるとは言えない。そのため、常日頃から充分に食べたいと思っているのであるから、飯の盛り方が少くなれば、決して快くは思わない。従つて、一食毎に一勺ずつ少なく食べよ、と言われては、聞くだけで忌々しく思うに違いない。仏教の施餓鬼供養で繰返し唱える言葉は、充分に食べ賜え、沢山食べ賜えという事であると聞いている。そうであれば、施餓鬼供養を行う目的は、充分に食べ賜えといふ事にある。一般の人たちを諭すのであれば、充分に食べて充分に働く、沢山食べて、骨身を惜しまず、自分のために稼げ、と諭すべきである。そうして、荒地を開墾して、米穀の増収を実現し、その他の物産を増加させる

人々が空腹から逃れて労力が増せば、土地は余分に開けて諸物産も増加する。これこそが、国を富ませるための本当の方法である。しかし、人は、開きたくても開くべき土地が無い、というかもしれません。地区的、何處でもまだ半開であれども耕作しやすそうであれば、総て田畠とするが、湿地や乾燥地、平らでない土地、石ころ交じりなどの粗悪な土地などは、殆ど総てがまだ田畠とはなっていない。全国を平均すれば、あと三回程度の開発を繰り返さなければ、本当の田畠にはならない。今の田畠は、耕作がしやすい土地ばかりである。

(夜一六四)

### II 訂 正 II

前月号(7月号/No.1431)

の2ページに掲載の記事「新規就農者4名に激励状贈呈」に誤りがありました。訂正して関係者の皆さんに謹んでお詫び申し上げます。

(誤) 渡辺雄太さん(わたなべゆうたさん)  
(正) 渡辺勇太さん(わたなべゆうたさん)



熱心に研修を受ける役員の皆さん

## JA役員コンプライアンス 研修会開催

6月25日、定例理事会終了後にJA三階会議室で、役員コンプライアンス研修会が開催されました。講師はJA北海道中央会岩見沢支所の林雄介主幹です。

研修内容は「JAグループ北海道不祥事ゼロ運動」の取り組みについてで、コンプライアンスの意義の再確認、不祥事の発生状況と具体例、法令違反例、過去10年の不祥事件報告件数の推移、発生状況の推移、発生事業の推移等で令和2年度は12年ぶりに10件以上発

生、不祥事の86%超は横領ということでした。また、JAグループ北海道は平成18年度から不祥事根絶、不祥事未然防止・再発防止を基本目標に「不祥事ゼロ運動」を展開し平成17年度に19件発生した不祥事は平成28年度には2件の発生に減少し一定の効果があつたと述べられました。

研修中の役員は真剣な表情で聞き入っていました。

回収したのは、使用済みのハウスピニール、マルチ、育苗箱、肥料袋、農薬の空容器等で、161人の組合員の皆さんから47t余りの産業廃棄物を回収しました。峰樺3区の農産物検査場所に集められ、排出者（組合員）毎に重量を測定・記録した後に種類毎に分別して運送会社の大型トラックに積み込まれ苦小牧の産業廃棄物処理業者に搬送されました。

回収した廃プラは固形燃料として産業廃棄物処理業者が運営する苦小牧にある火力発電所で再利用され、化石燃料の代替燃料として有効利用されます。

J Aでは、生活環境を守り「環境に優しい農業」を実践して安全・安心な農産物生産の実践を目指しています。



講師のJA北海道中央会岩見沢支所林主幹

廃棄物を仕分けし大型トラックに積み込む  
青年部の皆さん

重量測定・仕分け荷下ろしに並ぶ搬入車輛

## 農業用廃プラスチック類回収 JAと青年部が共同で実施

6月25日、JAと青年部（佐藤勝彦部長）が共同で農業用廃プラスチック類の回収を行いました。

JAでは、生活環境を守り「環境に優しい農業」を実践して安全・安心な農産物生産の実践を目指しています。

JAと青年部が共同で実施

JAでは、生活環境を守り「環境に優しい農業」を実践して安全・安心な農産物生産の実践を目指しています。



街頭啓発に集まった工事関係者等の皆さん

**基盤整備工事関係者等が  
交通安全呼び掛ける**

6月25日、美唄市峰延町にある国道12号と道々月形峰延線（峰樺道路）が接するT字交差点で交通安全の街頭啓発活動が行われました。

この路線は当JA管内等で施工している農地改良工事の客土運搬ダンプトラックが頻繁に行き交いしており、ドライバーに交通安全を再認識してもらおうと、美唄警察署、当JA、工事関係業者、空知総合振興局、地元町内連合会の5団体約30人が国道12号と峰樺道路の両歩道に立ち「スピードダウ



峰樺道路側の歩道で旗を振る当JA常勤理事

### 職員コンプライアンス 研修会開催

農地改良工事は6月1日に始まり8月15日までの予定で、客土ダンプトラックの交通量が通常時より増えています。街頭啓発を6月25日にしたのは、この日が語呂合わせで「無事故の日」ということです。

農地改良工事は6月1日に始まり8月15日までの予定で、客土ダンプトラックの交通量が通常時より増えています。街頭啓発を6月25日にしたのは、この日が語呂合わせで「無事故の日」ということです。

6月28日、営業時間終了後の5時20分から1時間30分にわたり、



講師のJA北海道中央会岩見沢支所の林主幹と大場職員

J A三階会議室で職員コンプライアンス研修会が開催されました。

講師はJA北海道中央会岩見沢支所の林雄介主幹と大場職員です。

研修内容は不祥事再発防止策の取り組みとして、職場風土の改善と働きがいのある職場づくりを目的に、昨年度職員が検討を重ねて

策定した職員行動規範を振り返つて、1年経過して行動規範を意識した行動を自分が、職場全体が、どの程度できているか。規範に沿った行動を高めていく必要があるとすれば何が原因でどのように意識・行動が求められるのかなどをテーマに研修が行われました。参

加した職員は34名で発表時には活発に意見が述べられていました。



活発に意見が述べられました

### 北海道の常例検査実施される

北海道が定期的にJAに対しても実施する常例検査が実施されました。当JAに対する検査日程が7月13日から7月16日で、従来は数名の検査員がJAに訪れて検査を実施していましたが、コロナ禍のため、今回は北海道で初の書面検査となり、北海道が要求する沢山の検査書類の送付指示を受け担当職員は用意し指定の月日まで提出しました。

## 7カ月ぶりに常会開催する

常会は昨年11月開催以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため休会し、7カ月ぶりに7月常会（7月1日開催）を開催しました。

常会開催に当たっては、マスク着用、消毒、換気に配慮し、開催場所の三階会議室は第一会議室と第二会議室を連結して広く使用し3人掛けテーブルは1名掛け、窓は開けて換気、会議は短時間となるように進行されました。



常会の様子

## 年金相談会を開催

7月2日、当JA二階会議室で年金相談会を開催しました。

当JAでは、組合員や利用者の皆様が安心して年金を受給できるよう年金相談会を毎年開催しており、今回相談に訪れたのは事前に予約を受けた5名です。相談を受けたのは大和田社会保険労務士（伊達市）で、年金受給に必要な手続きや年金額の試算など年金に関する疑問について分かりやすく丁寧に説明していました。



相談会の様子

## 峰千加が野菜栽培講習会開催

6月28日、峰延管内で活動する峰千加が園芸作物の栽培に取り組む部員の悩みや疑問を解消し、栽培技術の向上を図ることを目的に野菜栽培講習会を開催しました。

講習会は切山啓子さん宅（美唄市光珠内北）で行われ、12名の部員が参加し、ナスやトマト、キュウリなど、品目ごとに栽培ポイントを丁寧に説明しました。参加者からは積極的に質問する姿が見られ有意義な講習会となりました。



講習会に参加された峰千加の皆さん

## 全道の人身交通事故発生状況(令和3年5月末現在)

人身交通事故件数	3,859件(前年比+181件)
負傷者数	4,483人(前年比+244人)
亡くなった方	52人(前年比 -2人)
○死者に占める高齢者(65歳以上)の割合	61.5%
○死者に占めるシートベルト未着用の割合	50.0%
○死亡事故に占める最も多い事故態様	車両単独 34.6%
○死亡事故に占める最も多い道路	市町村道 42.3%

(美唄警察署 交通課)



生育状況を見て回る様子

## 空知地区水稻直播連絡協議会が現地研修会開催

7月7日、空知地区水稻直播連絡協議会による水稻直播の現地研修会が開催されました。

参加者は空知管内のJA、生産者、空知農業改良普及センターなどの関係者ら約60人で、美唄市水稻直播研究会副会長の加藤禎行さ

んの直播圃場を視察しました。参加者は空知管内のJA、生産者、空知農業改良普及センターなどの関係者ら約60人で、美唄市水稻直播研究会副会長の加藤禎行さん



生育状況を確認する参加者の皆さん



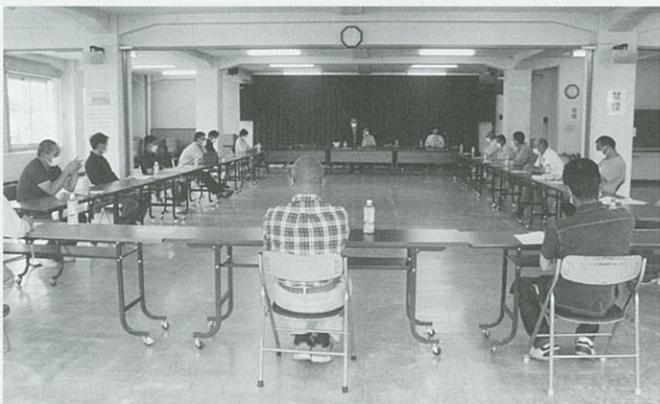
取り組み内容を説明する加藤禎行さん

員が栽培調査中の水稻直播品種「えみまる」と「さんさんまる」の生育状況を苗立率などから比較し特徴を説明しました。

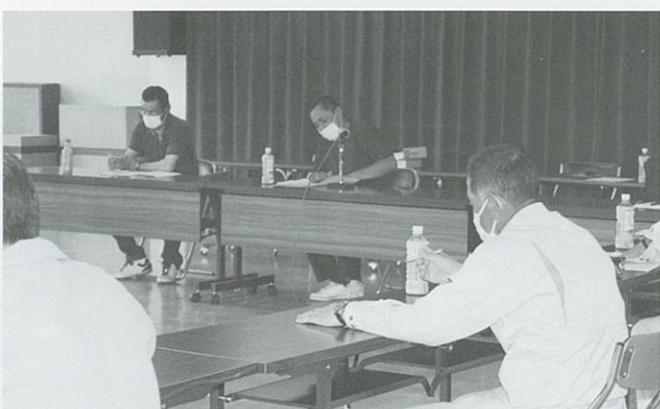
参加者からは、除草剤の使用時期や使用体系についての質問が相次ぎ、栽培管理について情報共有する貴重な研修会となりました。

7月8日、規程に定めてある役員体制検討審議会が招集されました。

### 役員体制検討審議会を開催



役員体制検討審議会の様子



互選を受けた宮越委員長と大野副委員長

学識経験役員の登用による執行体制、役員定数、選出方法等について理事会が審議会に諮問し審議会は審議のうえ組合長に答申を行います。審議会委員は現在の役員から2名、連合会代表10名、組織代表として農民協、女性部、青年部から各1名で、理事会の議決を経て招集されました。

7月8日に各代表に委嘱状が手渡された後、審議会の委員長及び副委員長が互選され、諮問事項の説明、今後の日程が説明され、第1回審議会を開催しました。

審議会への諮問事項は二つで一

つは、常勤理事3名体制のあり方で、平成27年に開催した審議会で地域理事3名による3人体制の答申を受け現在に至っています。現在の空知管内JAでは、当JAのような地域理事3名体制のJAはなく、地域理事2名と職員の理事1名による3名体制となつており、現状通りでよいか諮問されました。もう一つの諮問事項は、平成28年の地域推薦役員から、地域の枠組が美唄市と岩見沢市・三笠市に変更になつたが、組合員の高齢化や戸数の減少により選出が厳しい状況となり地区別懇談会において、

令和4年の役員改選にあたり定数削減の検討を求められているので諮詢されました。また、女性理事の推薦も検討願うことを諮詢されました。

7月8日開催の第1回で連合会代表による小委員会を設置し検討することになりました。

18日頃から始まりました。

小麦集出荷調製施設のピット毎に出荷一番乗りは美唄市光珠内北の仲河正博さんと美唄市豊葦2区の小島光穂さんでそれぞれ「きたほなみ」2111kgと2407kgを搬入し、記念として森川組合長からお祝いの品が手渡されました。



初出荷の記念品を受取る小島光穂さん



初出荷の記念品を受取る仲河政博さん

**小麦集出荷調製施設操業開**

小麦集出荷調製施設の本年産麦の受け入れ開始は、昨年より2日遅い7月24日から始まりました。刈取り作業は早いところで7月

宇高 登さん (元美唄市上美唄在住)  
7月16日  
美唄市峰延町本町  
2-206号

**若手職員を対象に人材育成研修会開催**

農業新聞を活用し、農業に関する情報の共有を図り、農業に対する関心と知識を高めて、自己啓発の向上につなげることを目的としています。

7月15日、JA三階会議室で若手職員を対象に日本農業新聞を活用したグループワーク研修会を開催しました。

伊藤 清文さん (86歳) 7月10日  
美唄市東4条北6丁目3番  
宇高 登さん (87歳) 7月16日  
美唄市峰延町本町  
2-206号

**おくやみ申し上げます**

5月1日から課内若手職員に農業新聞を回覧し、気になった記事をピックアップして、なぜ関心をもったかをグループ内で発表し、共有した記事の中から当JAの課題を一つ定義し、課題に対する解説を出し合いました。

講師に日本農業新聞北海道支所の福原亮佑さんを招き、日本農業新聞の役立つポイントなどをまとめて講義しました。

新聞を効率的に読むために、記事の結論となる「見出し」、結論に最低限の補足をした記事の概要となる「前文」、背景説明や分析などの「詳細」などを説明し、重複度や関心度によつた異なる購読方法を紹介しました。

福原さんは参加者に向け「新聞



活発に意見発表がありました

また、第30回JA北海道大会の基本目標である組合員との対話運動の実践に向け、組合員の目線に立ち密にコミュニケーションをとることを目的としています。

を読む意味は、備えるため、農業に対する知識を身につけ、農家さんとの対話の中で情報提供することで信頼につなげてほしい」と述べました。

### JAみねのぶオリジナル純米大吟醸酒『一圓融合』新酒発売

6月中旬、今年で7年目となる

当JA管内で生産した酒造好適米『きたしづく』が原料の純米大吟醸『一圓融合』の新酒が発売になりました。7月12日に当JA会議室で試飲会を行いました。

例年は関係者の方々をお招きして、新酒発表会を開催していますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、昨年に引き続き発表会を中止し、森川組合長と伊藤専務理事が今年の新酒を試飲しました。

今年の新酒は令和2年産『きたしづく』を使って700本製造され、価格は720ml入り2547円でJAみねのぶ生活店舗で販売しています。

飲み口は、フルーティで飲みやすく、森川組合長は「地域のお土産としても購入していただき、多くの人に味わっていただきたい」と述べていました。



表彰状を受け取る矢萩担当職員

### J A 全国共済連北海道 本部から表彰受ける

令和2年度（令和2年4月～令和3年3月）のJA共済事業における自動車共済カウンターセールスにおいて当JAが顕著な成績を達成してJA全国共済連北海道から



本年の新酒を試飲する  
森川組合長と伊藤専務理事

### ゲートボール部会夏季大会開催 峰延農協年金友の会

7月19日、峰延農協年金友の会ゲートボール部会（田島茂部長）が、光珠内沼貝神社のコートで夏季大会を開催しました。

この日は、部員10名（男性3名、女性7名）が参加し、30℃の炎天下で白熱のゲームを開催しました。ゲームでは日頃の練習の成果を發揮、1ゲームが終わると持ち寄ったおやつで休憩時間を設け和氣あいあいで親睦を深めていました。

秋季大会は9月20日ということでした。



夏季大会に参加した皆さん

表彰を受けました。道内の特約付帯率の高いJA84店舗中7位の成績でした。

### 販売企画課(精米施設・利用精米所)

精米施設は、小売店に卸す白米を作っています。利用精米所は、組合員が飯米用に持ち込む玄米を白米にしています。

#### ◇利用精米所



菊池 大

#### ◇精米施設



高橋 直希

## 職員紹介（正職員、準職員）

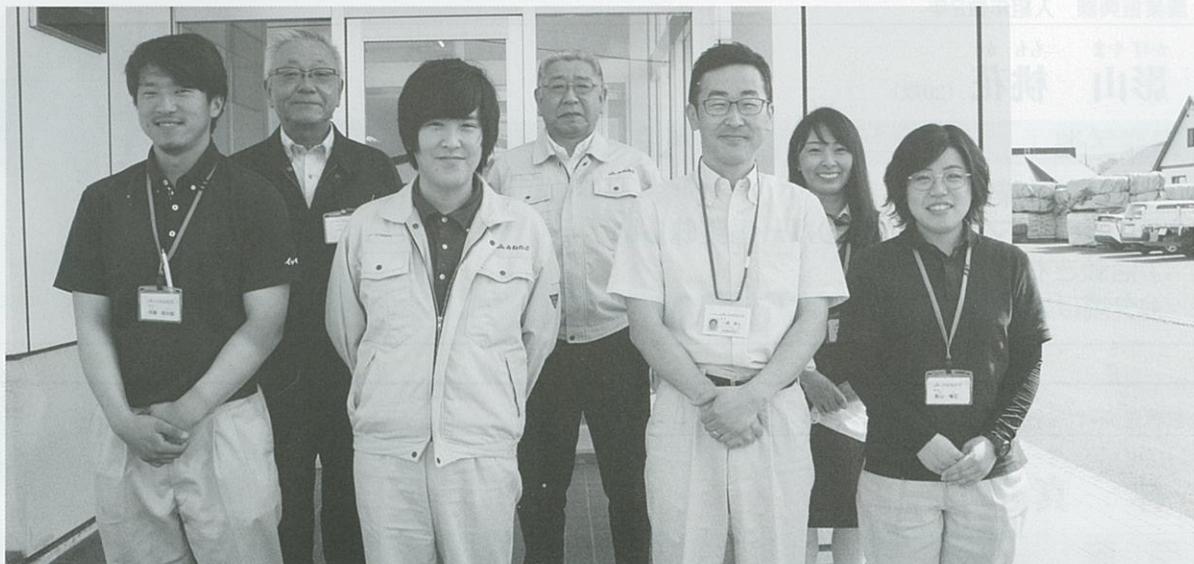
3回目

前月に引き続き、職員紹介を兼ねて各課の写真を掲載いたします。

組合員の皆さまのお役に立てるよう職員一同努力いたしますので、お立ち寄りの際はお気軽に声をかけてください。皆さまのご来店をお待ちしております。

### 農業振興課

地域農業振興計画の樹立と進行管理、経営所得安定対策等の各種補助事業、市町村や各関係機関との連携、担い手の育成、各種作業受委託、栽培履歴、土地改良事業（国営・道営・団体営）等の業務を行っています。



平野 敏浩 須藤 和人 小田島 朱里  
加藤 敬治郎 (主査)豆野 和樹 (課長)川越 基弘 影山 桃花

### 営農販売課

米、麦、大豆等の農産物の集荷、保管、販売、検査及び、精算業務を担っています。また、米・麦・大豆の集出荷調製施設の運営と管理を行っています。倉庫では保管、入出庫管理を行っています。



樗木 正樹 三森 誠 石澤 純史 大江 俊介 林 真里 谷野 明美  
横田 遙人 (主査)森 珠美 (次長)安西 圭史 (課長)工藤 宏章 (主査)數藤 鍊 奥山 翔平

## 中堅・若手職員紹介 vol.3

組合員と地域の皆様に顔と名前を覚えていただくため、入組10年以内の職員をピックアップして、座右の銘やモットーとしていること、簡単なプロフィールを添えて職員を紹介します。

※入組年数・年齢 令和3年4月1日現在

### 《職員に聞きました》

大きな文字で書かれているのは、座右の銘・モットーです。①休日の過ごし方、②好きな野菜とその食べ方、③理想とするJA職員像、④峰延の好きなところについて聞きました。

農業振興課 入組年数2年

かげやま ももか  
**影山 桃花** (20歳)

#### 猪突猛進

- ①実家で農業を学ぶ
- ②きゅり・トマト 生かじりが一番美味しい
- ③信頼される職員
- ④夕焼けが綺麗なところ



営農販売課(各施設担当) 入組年数3年

はやし まり  
**林 真里** (21歳)

#### 笑顔

- ①買い物、テレビ鑑賞
- ②茹でたブロッコリー
- ③多くの人に信頼される職員
- ④晴れた日のドライブが気持ちいいところ



販売企画課(精米所) 入組年数3年

おがさわら こうへい  
**小笠原 康平** (21歳)

#### 謹厳実直

- ①テレビ鑑賞、昼寝
- ②きゅうりの塩こうじ漬け
- ③誠実で助け合いができる職員
- ④お米が美味しいところ



金融課(融資) 入組年数3年

さとう はやと  
**佐藤 速也斗** (23歳)

#### 迅速かつ丁寧な業務遂行

- ①ドラマ鑑賞
- ②焼きナス
- ③職員・組合員さんに信頼される職員
- ④優しい方が多いところ

